

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 30 年度 第 2 回佐渡市図書館協議会
開催日時	平成 30 年 7 月 26 日 (木) 13 時 30 分開会 16 時閉会
場所	佐渡市立中央図書館 2 階講座室
議題	(1) 佐渡市図書館ビジョン (叩き台) について (2) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○ 佐渡市図書館協議会委員 会長 木村 和夫 委員 伊貝 秀一 近藤あゆみ 東 チヨ子 小松美知乃 深澤 隆司 稲田 修 ○ 事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 渡邊 尚人 課長 渡辺 竜五 館長 濱崎 賢一 主任 伊藤 優美 ○ オブザーバー 新潟県立図書館企画協力課長 平田 ひろみ 新潟大学学術情報部学術情報管理課長 磯谷 峰夫
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	—
備考	—

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
	1 開会  2 自己紹介 ○新潟大学学術情報部学術情報管理課長 自己紹介

	<p>3. 議題</p> <p>(1) 佐渡市図書館ビジョン（叩き台）について</p>
事務局	資料説明
木村会長	<p>理念を話し合っていくと、市民が思っていることとズレが出てしまう心配があります。むしろ私は柱の在り方について、その柱で良いのか、そこから話し合った方がいいのではないかと思います。</p>
伊貝委員	<p>何のための図書館(室)なのか、ということ突き詰めて考えたときに、教育委員会の計画にもありますが、やはり「人づくり」なんだろうと思います。図書館(室)は全てそのためにあると言ってもいいくらい。理念か柱かと言うよりは、セットで考えたいです。人づくりをどういう言葉で表すかは別にして、合わせて5本の柱を組み立てるのがいいのかなというふうな気持ちでいます。</p>
木村会長	<p>学校関係の委員さんにお尋ねします。学校には教育計画、重点目標がありますよね。毎年、学校は変わると思うのですが、そうすれば理念、柱は学校現場から見てどう考えますか。</p>
深澤委員	<p>佐渡市の理念が教育目標と考えれば、柱が図書館の重点目標になるのかなと思います。そこから枝分かれしてきて、学校でいうと1年生はどうするか、2年生はどうするか、国語は、算数は、と教科になります。図書館は縦・横ないと思うので、さっきの5つの柱が重点項目になります。</p>
稲田委員	<p>そうですね、ここを大事にしているというのを見せていくのは大事だと思います。</p>
伊貝委員	<p>佐渡市の図書館ビジョンがどうあって欲しいのか、自分なりに思うと、他と違うもの、佐渡らしいもの、歴史・自然・文化が豊かなところで、佐渡らしい図書館ビジョンであって欲しいなというのが自分の気持ちです。理念と柱を書くところしかない提案だったので、もうちょっと説明を加えるようなものもあって欲しかったです。「心豊かな佐渡びとづくり」は私が考えたものです。ヒントを得たのが、『佐渡びとの一生』という浜口一夫さんの本です。このようにいかにも佐渡らしいというような意味合いを込めて、佐渡びとという言葉を使いました。</p>
木村会長	<p>私が大事にしたかったのは平成25年に始まった、「これからの佐</p>

	<p>渡市の図書館(室)をどうするか」という教育委員会からの提案に基づいて、市内で話し合った市民からの意見です。極端に佐渡という言葉を意識しなくても、みんなが使いやすい図書館というのが大事になるのではないのでしょうか。だから私のところからは佐渡という言葉は抜けています。そういう意味では活性的な図書館(室)ですが、島というのが2つの大きな山地、その周辺部に点在するしかないようなところであれば、一般的な図書館(室)で充実するしかないのではないか、ちょっと夢の無いような話だがそんな意味合いでこれを作りました。</p>
伊貝委員	<p>旧10市町村ではなかったけれども、それぞれの地域の声を大事にしたいです。当分は今の体制を維持する。各地域それぞれの特徴を出すなど、それぞれの地域で一番ニーズのあるものに近づけるべきです。</p>
平田課長	<p>整理され目配りされ、本当にいろいろなものを盛り込んだビジョンの土台が出来たと思います。佐渡びとづくりというの、確かに佐渡の外に住んでいる人間からみると、佐渡は歴史も文化も特殊な地域なように思います。それに重点を置くというのはとてもいいことだと思う。しかし、そこに特化するのではなく皆さんが考えてくれたように、いろんなどころ、特別に佐渡と人と文化と言っているわけではなく、生活もあります。一人一人考えてきたものを、少しでもお話いただいて、ご意見交換されていかれるといいのかなと。お声をお聞きしたいなと思います。</p>
小松委員	<p>職員の方は、毎日図書室へ行くのが楽しみ、そして居心地の良い環境を作りたい、とおっしゃっていました。それと同時に取り組む方向として気軽に足を運んでくれる環境作りをしたい、ということで私もここへ載せました。移動図書館が小学校と連絡所へ行きますが、そこへ行くのさえも足がない高齢者もいます。遠方にはやはり本離れがあります。</p>
伊貝委員	<p>今の関連で、北海道恵庭市では、まちじゅう図書館の取組をやっています。要は市内のあちらこちらの店に、図書館の本を置いてもらうという取組です。図書館(室)まで出て来いというのは、高齢になればなるほど難しいです。移動図書館車は対応策ではありますが、もう1つ図書館に来る人の発想ではなくて、こちらのほうから仕掛けていく。非常に長い海岸線を、企業でも施設でも何でもいいのですが、本のコーナーがあって希望の本があって、いつでもそこへ近所の人を寄せ集めるようにしてやるという取組ですが、そういうの</p>

伊貝委員	<p>もありかなと思いました。人を集められるイベントをやってもいいし、逆にそのような工夫もやっていいと思います。</p> <p>少子高齢化という現状。子どもに光を当てたものは必ず出ます。高齢者のことを考えた図書館作りは考えるべきだと思います。佐渡は全国平均と比べても40%というものすごく高いところで、そのあたり高齢者向けのものというのは、どこかに言葉で入れるかどうかは別にして、この柱の中には考慮していきたいと思います。</p>
東委員	<p>大活字本、需要は結構ありますよね。結構高いみたいですが、たくさんあるのですか。</p>
伊藤主任	<p>出版の点数、近年増えてきています。今までは時代小説だとかそういうものが多かったが、最近の出版状況を見ると、若い方が読むようなタイトルが活字版で出ているなというふうに思います。</p>
平田課長	<p>全国的に高齢化が進んでいて、新潟県もそうですが、高齢者へのサービスなどいくつか議題になっています。</p>
深澤委員	<p>小学校には図書室があります。小学生が図書館(室)に行きたくなるメリット、行きたくなる図書館(室)って何かと考えたら、本の種類が多いこと、冊数が多い、土日にかけているから、親子で行ける、佐和田の図書館は読んだら何とか賞もらえる、そういうメリットがあるから行くのだらうなというふうに考えると、小学生が学校の図書室にも行くし、図書館(室)にも行きたくなるメリットを考えていくとこういう図書館(室)でいいのかなと思います。</p>
稲田委員	<p>佐渡島内でも利便性が全く違う中で何が出来るか、ということをやっていかなければいけません。これから高齢者ももっと簡単にIT等を使えるかもしれません。遠いところの人にもサービスが行き届くことを1点目に考えました。</p> <p>学校の図書室は魅力的だなと感じています。ただ学校があいているときしか利用できません。土日は閉まっています。それに学校職員が対応するのは難しいです。例えば図書館(室)と連携して学校の図書室を地域に開放するとか。どこに住んでいても本に触れることができるといいです。</p> <p>小学校の社会科や総合的な学習の授業で、例えば著名な人が書いた本物の書を見せる、それを学芸員が解説してくれることで内容が噛み砕かれて小学生にもインパクトを与えることができます。そうした資料があるというのは、すごく魅力的です。そういった状況が</p>

伊貝委員	<p>うまれるといいなと思ったのが2点目です。</p> <p>3点目が、これも今日、明日という話ではないですが、これから10年後を目指すといったときに、様々な人が興味のある本があって、気軽に立ち寄れるコーナーのようなものがあるといいです。</p> <p>各図書館(室)で資料を分散させる。例えば、北一輝の関係の書籍だったら両津図書館へ行けば揃っていますよ、と特徴を持たせることはできます。ガイダンス施設を入れてもいいのかもしれないけれど。やり方はあるような気がします。</p>
東委員	<p>今でも各図書館(室)のそれぞれの地域性、特性を活かしたやり方というのは若干やっているようです。ただそれが徹底されているかどうかに関しては非常に甘いと思います。オンライン化されていて、どこの図書館(室)でも検索できるから、もう少しクリアにまとめられればいいです。そういうふうにしていただければ、身近なことだから、もっと興味をもって見てくださるのではないかなと思います。取りまとめというか整理、PRは今後の課題で大事なことはないでしょうか。</p>
木村会長	<p>佐渡市の教育基本計画にある「明日の佐渡を創る人、世界に羽ばたく人の育成」。子どもたちがそういう本に触れることがまずできない、そういう人がいたことも知らない、そういう現実があります。佐渡のそれを生かすということもあるでしょうし、日本、世界に羽ばたいて、その生き方を自分も真似て頑張ろうとしたでしょうし。そうすると佐渡っ子という言葉、佐渡人という言葉、大事ですね。</p>
教育長	<p>図書館ビジョンを作る中で、図書館(室)の位置付けがまず必要なのではと、皆さんの話を聞いて思いました。中央図書館の役割、あと4つある地区図書館の役割、図書室の役割、学校の図書室の役割。大きく4つあるのではないのでしょうか。10が全部、図書館と考えて、今まで話してきたこと全て10の図書館(室)でやらなきゃいけないとこれは、とても大変な話です。基本的には、個性を生かすのは図書館(室)の地区の方の話であろうと思います。将来のビジョンとしてこういうふうな機能を真ん中の図書館には欲しいと、図書室はこうしたらいいだろうといふふうに割り振ると、少し頭の整理もつくと現状を見て思います。情報化社会が非常に進んでいます。若い人が働いているときに実際、図書館(室)を利用するかと言ったら利用しないですね。その辺を考える必要もあります。小学校にも今、常駐ではないが司書の方がいて、以前と違ってかなり充実しています。一般の人に開放するのは難しい問題だなと思いますが、将来的</p>

	<p>に図書館(室)と学校の図書室が一緒になるという方法を考えられないこともないです。そこまではいかないにしても、ある程度役割を考えてこの整備をするということも考えなくてはと思います。この進め方として少し理念のところに意見が出てきて、修正のところ、どう手を加えるかという段階で、全体のイメージとして大きなものがあって、そこから個々の案に行くのでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>5つの柱のト書きは付かないのですか。</p>
濱崎館長	<p>今のところ、ここにはありません。ビジョンの中にある程度詳しく政策1・2・3として分けている部分もありますが、柱の説明はないです。</p>
渡辺課長	<p>柱の位置を付けて、柱のコンセプトをこの間にいれるかどうか、ということですね。ただコンセプトの中味が施策に載っています。表現の仕方をどのようにするのか。施策があるものをぎゅっここに載せていくのか。それとも大きな柱としてこういうことやるという表示にするのか。どちらが分かりやすいかということです。この観点でお考え頂きたいです。</p>
濱崎館長	<p>この言葉のままでいくとコンセプトはいりますが、簡単な柱であれば、あとは施策があればそんなに要らないと思います。</p>
伊貝委員	<p>理念にも説明が欲しいし、目指す図書館像にも説明が欲しいです。それで図書館ビジョンを完結してもいいです。施策と目標は別。</p>
渡辺課長	<p>伊貝委員がおっしゃったのは、方針を具体的に書いたものをビジョンにし、アクションプランという、それをやるために別のプランを作るということでしょうか。アクションプラン形式にして、ここでいう具体的な取組み設けて高らかに使うものだけにするのか。それだけで作ってアクションプランもいいですが、全体で見えた方がいいかなと考えてみました。たたき台なのでいろんな意見を出してもらいたいです。</p>
伊貝委員	<p>これは長期的なものとして考えるものであって、理念的なものを毎年変えるようなものではないです。目標数値は毎年変わるかもしれません。私は、格調高き理念があってアクションプラン的なものがある方がいいです。</p>
渡辺課長	<p>2段階方式になると7ページの柱に、もう少し詳しい理念を、方</p>

	<p>向性・考え方の整備をしたものがビジョンになって、8ページ以降が整備をした柱をどう取り組むかというのがアクションプランになります。これだと目標数値を決めて10年先の将来像と3年毎のチェックをします。アクションプランであれば数値目標だけなので協議会にかけながらこうしますよ、ということが簡単にできます。ビジョンになると、例えば市長が変わったら、図書館は違うよ、という話になったら変えなければいけません。委員さんが代わってこんな図書館像ダメだよとなったら変えなきゃいけないです。ということになるので、一つの大きな柱を作って、アクションプランは具体的にやることになります。評価はどちらに入れるかは別です。</p>
平田課長	<p>私は今おっしゃったものでいいと思います。今年はここに重点を置こうというやり方もあるので、毎年毎年全てに力を入れるのは不可能に近いと思います。段階を踏んで実現していくというやり方。</p> <p>先ほどから地域的な問題があると出ていますが、障がい者サービスという言葉があります。地域的に遠い方、細かい字が読めない、いろんな方がいらっしゃると思うので、そういう障がいを一つ一つ取り除いて全ての方にサービスが行き届くようにというのが、今の障がい者サービスというものです。問題は図書館側の問題という認識が一般的です。佐渡は特に力を入れていく一つとして、入れていった方がいいのではないかと思います。</p>
伊貝委員	<p>県立図書館では、最近の図書の貸し出しで電子書籍があるとか、2週間くらいで消えてしまうとか、そういうのはやられていますか。</p>
平田課長	<p>やっていないです。うちの蔵書が80万冊あって、今の電子書籍のソフトが、県立図書館がサービスをする規模に達していない、魅力ある内容になっていません。取り入れるには予算も必要です。簡単な話ではないが検討するような段階ではないです。</p>
伊貝委員	<p>どんな表現でもいいが、長いのはよくありません。説明を入れるのであれば、そこで説明すればいいです。5項目読んで閉じて、5分後言えるかと言ったら言えないと思います。言えるのが柱であって欲しいなと思います。</p>
教育長	<p>理念と柱が5本立っています。あくまでも案であって内容が決まっているわけではないので、今ここでもう一度意見を出してもらって、また後でまとめて作りたと思います。そんな進め方はどうでしょうか。</p>

木村会長	<p>年代別を調べたとき、30～40代の女性が子どものために、「おはなし会」をやりたい！という人が多いです。それがすぐ分かるような方がいいです。</p> <p>若い人たちは勉強したいという。図書館はそういうところではないというのは分かりますが10代～20代に関しては、学習室の充実。いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館となるのでしょうか。</p>
濱崎館長	<p>施設の整備、あるところとないところがあるので、施設整備の2番になるかと思います。講座室を開放して学習室として利用していきたいと。</p>
伊貝委員	<p>ないところでニーズがあるところは、どうやって工夫して作るのか、という話になります。その地域でニーズがあるなら、正にそのようなものの方向性を示すビジョンになります。</p>
濱崎館長	<p>整備的な所、ない所に作るのは難しいです。</p>
伊貝委員	<p>2番は何を前端的に打ち出していくのでしょうか。気軽に図書館(室)を利用しましょうということがコンセプトですかね。2番の柱の主旨というのを、解説で工夫して見せていただければ。</p>
近藤委員	<p>アンケートのことについて。アンケートの自由記載のところ、自分たちの書いた意見がどのような形になるのかということを知りたいと思います。それはどちらかで公表してくれるのですか。</p>
濱崎館長	<p>ホームページに載せる予定です。</p>
木村会長	<p>図書館関係者(職員)には伝えてありますが、一般にはまとめたものを載せてあるということですね。</p>
濱崎館長	<p>個人意見(駐車場を広くして欲しいなど)は載せていません。</p>
伊貝委員	<p>問8は、我々が必要だと思って、意見がある人は書いてくださいと、こちらが言いました。オープンにしないとイケません。</p>
伊藤主任	<p>今、公開にむけて作業中です。ご意見の中に文言は違いますが、同じ内容を言っているんだろうなという意見が多数ありました。どこの文言を残すか今精査する作業をしています。時間がかかってご迷惑をかけていますが、そこの精査が終わりましたら公開したいと</p>



<p>近藤委員</p>	<p>思っています。</p> <p>まとめると言っていましたが、意見が変わってしまうのではないですか。</p> <p>Webで載せるのは大変でしょうし、このまま図書館(室)で一般の方が閲覧できるようにしていただければ、意見も変えることなく済みます。</p>
<p>平田課長</p>	<p>これだけ大きなアンケートをとったことはないですが、これをそのままアップするのは難しいです。各図書館(室)で閲覧することが出来ればいいです。それができると来館されて、自分の書いたものがどのようになっているか確認できます。</p>
<p>濱崎館長</p>	<p>紙ベースにするかホームページにするか、そこは検討させてください。</p>
<p>木村会長</p>	<p>第1の目標として佐渡の図書館(室)がどうあるべきかの理念を作ろうと。理念を実現するために大きな柱でいけばいいか、今5つあります。ここでやると1～2時間ではすまないから、事務局側からの提案をお願いします。</p>
<p>濱崎館長</p>	<p>理念、柱、今回の話を受けて再度ペーパーをお願いします。気持ちも入れてもらえるとありがたいです。</p>
<p>伊貝委員</p>	<p>簡潔に、5本柱については説明を、そういう再構成をするという作業をやっていただければいいのではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>具体的に原案を、原案を基にたたいたほうがはっきり分かります。事務局で作ると、もう一回同じ議論が始まります。自分の意見をしっかり書いていただいて、具体的に直す、こういうふうに変えたいというのを書いていただいて、皆様に示す。</p>
<p>渡辺課長</p>	<p>前回の会議でもいろんな意見が出ましたが、ここまで細かく意見が出るとは思っていませんでした。日本人の特徴で、この場では言えない、家に帰って考えたらもっといい案が出た、というのがあると思います。もう一度持ち帰っているいろんな意見を自分なりに書いていただければいいです。個人個人のお力を。とりまとめるにも整理がつけやすいです。</p>

	(2) その他
木村会長	これで協議会を終わりにしますが、オブザーバーのお2人からご挨拶をお願いします。
	平田課長・磯谷課長 あいさつ
木村会長	質問等ありませんか。
東委員	仕事が忙しくて2週間では読みきれないという方がいます。貸し出し期間の延長というか、もう少し長いスパンで借りられないかなと。
木村会長	ご検討をお願いします。 他にありますか。
近藤委員	図書館整備計画の作成に向けてのスケジュール案で各地区の懇談会という記載がありますが、いつごろ行われる予定ですか。
濱崎館長	ビジョン素案になってから説明に行く予定です。
木村会長	閉会のあいさつ